



川口市立十二月田中学校

道徳教育の方針 ～心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

道徳教育の推進にあたり、道徳の時間を要とし、全教育活動において体験活動を通して人とのふれあいの場を大切に、家庭・地域の連携を図り、次の4点の行動目標に向け、全教職員の叡智を結集しながら道徳的实践を展開する。

- ① 主体的に行動する。
- ② 適切な言動をとる。
- ③ 命を大切にする。
- ④ きまりを守る。

4月の校内研修（共通理解事項）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 共通確認事項 | 3 評価の方法について |
| (1)指導観 | (1)評価資料・注意点 |
| (2)評価(何を見取るか・どのように見取るか) | (2)道徳ノート・プリント |
| 2 授業の進め方について | 4 掲示物について |
| (1)教科書とワークシートの利用 | |
| (2)担任道徳+ローテーション道徳 | |

初任者の先生や新しく赴任してきた先生方のために、道徳科の目標の確認や授業づくりの行い方・十二月田中学校の取り組みについてなど話をしています。4月のオリエンテーション等の一例も示し、共通理解をしています。

道徳コーナー（教材室）



校内の教材室内に道徳コーナーを設置し、授業で活用できる教材や指導案などを集約している。教職員が自由に閲覧・活用・共有できる環境を整え、日常的な教材研究や授業改善に向け、教材の蓄積を行っている。

授業の取り組み



1学期は学級担任が授業を担当し、生徒一人一人との信頼関係を基盤に、安心して考えや思いを表現できる授業づくりを行っています。2学期からは学年職員によるローテーション授業を実施し、多様な価値観や指導に触れる機会を設定しています。授業後には教員同士で成果や課題を共有し、授業改善につなげることで、学校全体で道徳教育の充実を図っています。(R7年度撮影)

道徳コーナー（各教室）



各学級内に道徳コーナーを設置し、授業で扱った価値項目や生徒の気づき・考えを掲示しています。学びの跡を可視化し、学習の積み重ねが目に見える形となることで、これまでの学びを振り返り、友達の考えに日常的に触れることができる環境を整えています。また、教室全体で道徳的価値を意識できる環境づくりを通して、授業の学びを日々の生活へとつなげることを目指しています。

学級・学年の取り組み



校内では、行事や日常生活で見られた生徒よい場面や体験活動等を掲示しています。様々な場面を学びの機会と捉え、全教育活動を通した道徳教育を推進しています。

